



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 9月 文責 校長

「ウェルビーイング」

<well (よい)>と<being (状態)>

「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること」

国や県の教育振興に関わる計画（教育振興基本計画）の総括的な基本方針として、

- ①「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の担い手の育成」
- ②「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

と示されています。

個人としてのウェルビーイング、社会のウェルビーイング等と類別されることもありますが、

世界中で使われているキーワードですので、皆さんもタブレットや携帯端末等で検索のうえ、確認してみたいかがでしょうか？

実は、上記①の社会の担い手を育成し、②ウェルビーイングの向上を図るために、子どもたちに身に付けてほしい力のひとつとして、

「エージェンシー」(agency)

という力が注目されています。

「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力 (the capacity to set a goal, reflect and act responsibly to effect change)」

横文字を多用していますが、これからの教育を考えるうえで大切な言葉と思い、ご紹介した次第です。

参観日中止

楽しみにされていた方々がたくさんいらっしゃったかもしれませんが。

それぞれの学年学級で、子どもたちが生き生きと学習する姿を披露できる機会でしたし、この日のためにお休みをとられていたご家庭もあるかと思えます。

しかし、冷房機器の不調に加えて、感染症が広まる兆候（発熱等による欠席者の増加）が見られたため、9月の参観及び懇談等を中止する判断をしました。

暑さや感染症を勘案し、9月の参観日も見直していく必要がでてきました。

雷が鳴ったら

子どもたちが登下校していました。その途中、空がだんだん黒くなって、ゴロゴロと雷が鳴りはじめました。

さて、どんなところに避難すればよいですか？

- ① 鉄筋コンクリート製の建物の中
- ② 自動車の中
- ③ 避雷設備が整った建物の中
- ④ 本格的な木造建築の中

①～④すべて正解です。

背の高い木の下や電柱の近くは、かえって落雷の危険があります。

学校の運動場や地区の公園等で遊んでいるときは、どこに避難したらいいか？

ご家庭でも話し合われておくといいですね。

コロナ・インフル・百日咳

爆発的な流行はしていないものの、冷房使用のために部屋を閉め切ったり、暑さで体力が落ちていたりする等の理由により、日本各地で感染症による学級閉鎖等の報道を見聞します。

意外に思われるのは、インフルエンザ。秋から冬にかけて流行する傾向にありましたが、ここ最近の流行の広がりで、薬が不足する可能性も指摘されています。

基本的な生活習慣（早寝、早起き、朝ごはん、うがい、手洗い、歯みがき、適度な運動、睡眠等）を再度確認し、子どもたちがよりよく活動できるようにしたいものです。

予期せぬ「集団下校」

9月22日（月）、刑事事件に係る犯人捜索中のため、急遽「集団下校」実施の判断をしました。

町内全小中学校で、検挙されたとしても訓練として実施する方向で保護者の皆さんには周知を図りました。

給食後の時間に先生方と実施に向けた打合せを行い、各学級での指導、各地区教室への移動、集団下校という流れで実施しました。

安全安心メールにてお知らせをしましたが、個別の送迎に係ること、個別に配慮の必要な児童、地区の事情等について、たくさんの電話をいただきました（およそ35件）。

今回は、給食中に「犯人確保」の報道があり、胸をなでおろした次第ですが、連絡がきちんと伝達されない等の課題も浮き彫りになりました。今後も風水害等を含めて様々な事案が想定されます。

学校待機か？送迎依頼か？個別の配慮がどこまで可能か？連絡連携ミスなく実施できるか？
今回拝聴したご指摘等も参考にし、よりよい対応策を講じていきたいと考えています。

皆既月食（かいぎげっしょく）

月食は、地球が太陽と月の間に入り、地球の影が月にかかることによって、月が欠けて見える現象です。

皆既月食は、太陽・地球・月が一直線に並ぶとき、満月の頃にだけ起こります。

9月8日の未明、およそ3年ぶりに日本で観測されました。

睡眠時間を優先したため、ネットやテレビの動画で視聴しましたが、満月が地球の影におおわれる瞬間は、宇宙の不思議を感じさせるものでした。

次回は来年の3月3日、ひな祭りの夜だということです。（国立天文台より）

結団式

9月17日（水）、運動会の始まりの式（結団式）を行いました。

子どもたちの言葉で始まり、子どもたちの言葉で終わる流れでした。

団長・副団長に選ばれた6年生が、運動会に向けての意気込みをマイクなしで発表し、いい雰囲気を作りました。

私は、激励のことばとして、
「運動会ができることに感謝すること」
「運動会が終わってどんな気持ちになるか、どんな考え方になっているかを楽しみに見ていること」を述べました。

体育主任の先生が、
「運動会は、勝ち負けや順位以上に大事なことを学ぶ機会であること」も話し、意欲付けを図りました。

運動会に向けて、どんなめあてを持つのか、運動会が心や体にどんな変容をもたらすのか、ご家庭でも見守ってください。